

二十歳の誓い

はじめに、この度の令和6年能登半島地震により被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

さて、本日は、二十歳の節目を迎えた私たちのために、このように盛大な二十歳のつどいを挙行していただき、誠にありがとうございます。また、二十歳のつどい開催のためにご尽力いただいた関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、時の流れは速いもので、私たちが進学や就職等で進路を選択してからすでに二年が経過しました。年を取ると一日が終わるのが早く感じると思いますが、私は進学してから痛くそれを実感しております。

ところで、ここにいる皆さんの中にはすでに二十歳を迎え、お酒を飲んだりタバコを吸ったりできる人がいると思います。日常的に車で通勤、通学している方もいるでしょう。誰しも初めてのことをするときはある程度の緊張感を持っています。慣れてきたときが一番危険です。一瞬の油断から大きなトラブルにつながります。私たちはもう自分以外の誰のせいにすることは出来ません。何をするにも全て自己責任です。自分の行いにはそれ相応の責任が伴うということを忘れないようにしましょう。

それにさえ気を付けることが出来れば大人の仲間入りです。あとは皆さんの目標に向かって突き進むのみです。年収一千万円を目指す人や海外で働きたいという人、芸能界に進出したいという人など様々な思いがあります。SNSで有名インフルエンサーを夢見る人だっているかもしれません。かくいう私も承認欲求はそこそこあるため、不特定多数の人にちやほやされたいと考えることもあります。しかし、私たちはアニメや漫画の主人公ではないので、望むことすべてが上手くいくわけではありません。失敗することのほうが多いでしょう。

ですが、夢を叶えるために行った努力は無駄にはなりません。それが何であろうと自身身の力になります。たとえミュージシャンとしての才能が開かなくても、売れない漫画家だとしてもです。若いうちに自分のやりたいことに挑戦してみましよう。人生は冒険です。

結びになりますが、私は常に前向きなことを考えて生きていきたいと思えます。これからの世界が明るい話題で持ちきりになること、今まで私たちを支えてくださった方々への感謝、皆さんの未来が明るいものとなることを祈念し、二十歳の誓いとさせていただきます。